

今回が最後のイベントです

東日本大震災から13年
感じる学ぶ、困難な時代の
私たちの生き方

第12回

心ひとつに3.11

2024年3月10日(日)

10時～16時

おおぶ文化交流の杜allobu

愛知県大府市柊山町六丁目150-1



買って食べて応援の輪

東北物産市《10時～14時:ふれあいの路》

三陸の美味しい海産物や東北名物が並ぶ恒例の人気企画
ミネラル豊富な海産物やお魚の缶詰など、非常食としても役立ちます

今、みんなで観たいドキュメンタリー映画

※詳細は裏面をご覧ください

映画「先祖になる」上映会《13時半～16時:ギャラリーallobu》

参加費：無料 事前申込：必要 対象：中学生以上 定員：80名
池谷薫監督からのメッセージ動画も上映します

【申込方法】 2024年2月10日(土)から下記のいずれかよりお申し込みください

- ①Googleフォーム(右のQRコードより読み込み)
 - ②おおぶ文化交流の杜図書館総合カウンターにて受付
 - ③電話申し込み 0562-48-1808(おおぶ文化交流の杜図書館)
- ※お問い合わせ先 竹田(090-3572-6864)



主催/3.11を忘れない大府実行委員会(あつまり処わのや、FukkOBU、認定NPO法人愛知ネット、個人参加者)

協力/おおぶ文化交流の杜allobu、おおぶ文化交流の杜図書館

後援/大府市、大府市社会福祉協議会

お問い合わせ 3.11を忘れない大府実行委員会 竹田(090-3572-6864)

今、みんなで観たいドキュメンタリー映画

映画「先祖になる」上映会《13時半～16時:ギャラリーallobu》

大津波により消防団活動中の長男と自宅をなくしながらも、復興を牽引しふるさとを守ろうと奮闘した佐藤直志さんを池谷薫監督が追ったドキュメンタリー。

舞台は、岩手県陸前高田市。

佐藤直志さんは、被災時77歳。

木こりとして生涯現役を通し、被災後も支援に甘んじることなく瓦礫の埋まった土地に蕎麦の実を蒔き、米も作った。

被災翌年には自ら伐った木で元の場所に自宅を再建した。

池谷薫監督は、その姿に頑固さと底力そして何より人としての魅力を感じながら1年半撮り続けこの映画にまとめた。

これまでも私たちの先祖たちは、戦争や災害といった幾多の困難を乗り越えてきました。

先行きの見えない今こそ、佐藤直志さんの生きざまを通して、生きるとはどういうことかをともに考えていただけたら幸いです。

第63回 ベルリン国際映画祭エキュメニカル賞特別賞受賞
第37回 香港国際映画祭ファイアーバード賞(グランプリ)受賞
平成25年度 文化庁映画賞(文化記録映画部門)大賞受賞
上映時間118分



「先祖になる」オフィシャルサイト

3.11を忘れない大府実行委員会より

能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。今回の地震で、改めて明日は我が身と思い知らされました。私たちはこれまで12年間の活動を通して、東日本大震災・福島原発事故を風化させることなく、教訓を生かし学び備えること、そして心ひとつにつながることの大切さを発信してきました。そのことを改めて今皆さんと確認し合いたいと思います。

今回は映画「先祖になる」と東北物産市の2本柱です。「映画?今さら?ピンと来ないな」そんな方とも一緒に観たい、この映画は震災の実際というよりは、もっと根源的で骨太な、人としての生き方を描いた作品です。

さて、「心ひとつに3.11」は今回をもって区切りといたします。12年の活動中には、東北で被災された方、福島から愛知県に避難された方をはじめ、支援活動を続ける方、大府市内外からの参加者、至学館大学演習生や大府高校生など多くの方とつながることができました。

「心ひとつに」という言葉は、ともすると曖昧できれいごとなのかもしれませんが、ですが、認め合い、感謝し、想いを寄せることで、少しでも誰かの救いになり、あたたかな社会になることを私たちは信じています。

私たちの想いはずっと続きます。最後のイベント、ぜひご参加ください。

実行委員長 竹田未知留

主催

3.11を忘れない大府実行委員会

(あつまり処わのや、FukkOBU、認定NPO法人愛知ネット、個人参加者)

お問い合わせ

3.11を忘れない大府実行委員会 竹田(090-3572-6864)



Facebook